

# 日南町総合文化センター照明LED化工事

| 図面リスト |                   |       |
|-------|-------------------|-------|
| 図面番号  | 図面名称              | 縮 尺   |
| E-01  | 表紙 図面リスト          | ——    |
| E-02  | 電気設備工事特記仕様書（1）    | ——    |
| E-03  | 電気設備工事特記仕様書（2）    | ——    |
| E-04  | 配置図 付近見取図         | 1／500 |
| E-05  | 照明器具 参考姿図 凡例      | ——    |
| E-06  | ホール棟1階 電灯設備 配置図   | 1／150 |
| E-07  | ホール棟2階 電灯設備 配置図   | 1／150 |
| E-08  | ホール棟3階 電灯設備 配置図   | 1／150 |
| E-09  | ホール棟4階 電灯設備 配置図   | 1／150 |
| E-10  | ホール棟 塔屋 電灯設備 配置図  | 1／150 |
| E-11  | 美術館棟1、2階 電灯設備 配置図 | 1／150 |
| E-12  | 外部 電灯設備 配置図       | 1／200 |

## I. 工事概要

## 2 建物概要

### 3 工事種目 (◎印の付いたものが対象工事種目)

4 **設備概要** (本工事における工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)  
 ◎ の付いたものを適用する。

名  
日南町総合文化センター照明LED化工事

電氣設備工事特記仕様書（１）

[illegible]

| 縮尺                                                                                    |                                                                                       |                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |

|       |  |
|-------|--|
| 管理建築士 |  |
|-------|--|

四

担

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|



作

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|--|--|

[illegible]

—

—

1

● 株主

社 特

ビイ

 $\triangle$ 

イビエ

境設備

事務所)

年 月

20

0

三

**TBM**  
TECHNICAL BUILDING MANAGEMENT

株式会社 ティビーエム (ティビーエム環境設備設計事務所)  
鳥取県米子市目久美町34番地2  
鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所  
一級建築士 第344020号 (設備設計一級建築士 第4169号) 赤井 優

年月 2025. 06

図番 E — 02

頁 02 / 12 全

一般共通事項

15 工事用仮設物

16 土工事

17 電線類

18 電線本数・管路等

19 屋外露出配管の仕上げ

20 露出配管の塗装（付属品含む）

21 波付硬質合成樹脂管（FEP）

22 フラッシュプレートの材質

23 カバープレートの表示

24 プルボックスの塗装

25 耐震施工

構内につくことが ※ できる ● できない

埋め戻し土 ※ 根切土の中の良質土 ● 山砂の類（ ） ● 真砂土（ ）

建設発生土の処理 ● 構外に搬出し適切に処理 ※ 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積

本工事ででは環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。

EM電線類で規格等の定めのないものはハログン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。

通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。

盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品と特記したものは除く。

ハーネスジョイントボックス用OAタップのケーブルはハログン及び鉛を含まない材料とする。

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさつつかえない。

屋外露出配管（厚鋼電線管）で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ〔めっき付着量 300g/㎡以上〕とする。

塗装する部分 ● 屋上 ● 屋側 ● 屋外 ● 廊下 ● 機械室 ● 居室（ ） ●

波付硬質合成樹脂管（FEP）を使用する場合は不燃又は難燃性とする。

● 金属製（ステンレス、新金属も含む） ● 樹脂製

シール等を貼付し、用途を表示する。

ステンレス製プルボックスの塗装 ※ 無（素地仕上） ● 有（指定色仕上）

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。

1）機器の据付け及び取付け

設計用水平地震力は、機器重量[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

|        | ● 特定の施設 | ● 一般の施設             |     |
|--------|---------|---------------------|-----|
| 設置場所   | 機器種別    | 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 |     |
| 上層階    | 機 器     | 1.5                 | 1.0 |
|        | 防振支持の機器 | 2.0                 | 1.5 |
|        | 水 槽 類   | 1.5                 | 1.0 |
| 中間階    | 機 器     | 1.0                 | 0.6 |
|        | 防振支持の機器 | 1.5                 | 1.0 |
|        | 水 槽 類   | 1.0                 | 0.6 |
| 地下及び1階 | 機 器     | 1.0                 | 0.4 |
|        | 防振支持の機器 | 1.0                 | 0.6 |
|        | 水 槽 類   | 1.5                 |     |

上層階の定義 2～6階建：最上階、7～9階建：上層2階、10～12階建：上層3階、13階以上：上層4階  
中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの  
水槽類には燃料小出槽を含む

重要機器 （ ● 配電盤 ● 非常用発電装置 ● 交換装置 ● 直流電源装置 ● UPS装置  
● 火災報知受信機 ● 中央監視制御装置 ● 通信総合盤 ● ）

2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

3）設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（（一財）日本建築センター）を参考にする。

接地極の材料は次による。

| 接地の種類        | 記 号                                          | 接地抵抗値  | 接 地 極    |
|--------------|----------------------------------------------|--------|----------|
| ● 共同接地       | E <sub>A</sub> E <sub>D</sub>                | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● 共同接地       | E <sub>A</sub> E <sub>C</sub> E <sub>D</sub> | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● A種         | E <sub>A</sub>                               | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● B種         | E <sub>B</sub>                               | Ω以下    | EB×2連－2組 |
| ● C種         | E <sub>C</sub>                               | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● D種         | E <sub>D</sub>                               | 100Ω以下 | EB×1     |
| ● 高圧避雷器      | E <sub>LH</sub>                              | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● 交換機用       | E <sub>t</sub>                               | Ω以下    | EB×3連－1組 |
| ● 通信用        | E <sub>At</sub>                              | 10Ω以下  | EB×3連－2組 |
| ● 通信用        | E <sub>Dt</sub> 及び E <sub>Da</sub>           | 100Ω以下 | EB×1     |
| ● 電話引込口の保安器用 | E <sub>Lt</sub>                              | 100Ω以下 | EB×1     |
| ● 測定用        | E <sub>O</sub>                               | －      | EB×1     |

(連結の場合、EBはD＝14 L＝1500 または W＝40 L＝1200とする)  
(E<sub>D</sub>E<sub>Dt</sub>E<sub>Da</sub>E<sub>Lt</sub>E<sub>O</sub>の場合、EBはD＝10 L＝1000 または W＝30 L＝900 以上とする)  
(その他単独の場合、EBはD＝14 L＝1500 または W＝40 L＝1200とする)

ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛メッキを施したものとする。

外気に面する壁、スラブ等で打ちこみとなる位置ボックスは保温、結露防止処理を行う。

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。

処理を行うアスベスト含有建材の仕様等

| 建材の内容・箇所 | 仕様等 | 処理を行う範囲 |
|----------|-----|---------|
|          |     |         |
|          |     |         |

※ 県有施設の石綿除去に係る施工業者の登録制度による登録業者を活用するものとする。

※ 官公署その他への手続きは、同仕様書によるほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。

● 施工調査（分析によるアスベスト含有建材の調査）を行う。

分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● アスベスト粉じん濃度測定を行う。

（測定時期： 測定場所： 測定点： ）

● 洗浄設備（洗眼、うがいの設備）及び更衣設備等を設ける。

● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。

対象箇所（ ）

一般共通事項

30 補修など

31 はつり

32 はつり工事における非破壊検査

33 あと施工アンカー

34 室内空気中の化学物質の濃度測定

35 火災保険等

36 鳥取県公共事業環境配慮指針

37 建築物省エネ法

1 工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にしない補修する。

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

探査方法 ※電磁誘導式 ●放射線透過検査 ●

1）施工後確認試験 ※ 行わない ● 行う

試験方法 引張試験機による引張試験

確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上

試験箇所数 1施工単位に対し1本以上

対象機器 ● 配電盤 ● 発電装置 ● 直流電源装置 ● 太陽光発電装置

実施する。

工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。

（保険の加入期限は、工事完成引渡しまで〔概ね工期+21日〕とする。）

※ 対象工事

※ 対象工事

1 照明器具

2 一般照明の照度測定

3 非常用照明の照度測定

4 照明制御の照度測定等

1）LEDの光源色は別図面に指定がある場合を除き下記による。

LEDの光源色 (※)昼白色 ● 温白色 (●)電球色

測定結果を監督職員に提出する。（測定箇所等は、監督職員の指示による。）

※ 設置した各部屋2箇所以上 ●

明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は照度測定を行い測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。

照度測定時期 100％点灯時（※ 夜間 ● 昼間）

調光制御点灯時（※ 夜間 ※ 昼間）

1 機器への接続

2 大地抵抗率の測定

2 外部雷保護設備接地システム

1 変圧器移動車輪

2 デマンド監視装置

3 盤内照明

1 交流無停電電源装置（UPS）

1 自家発電装置

● ディーゼル発電装置

● ガスエンジン発電装置

● ガスタービン発電装置

● 熱供給発電装置

● 燃料電池発電装置

運転時間（ h）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無）

出力（ kW）

配電盤外装（ ● 有 ● 無）

保安装置（ 重故障項目特記 ● 有 ● 無）

外部用端子（ ● 要 ● 不要）

減圧水槽及び初期注水槽の材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス鋼板製）

オイルタンク（ ● 地下 ● 屋内）

据付：機械設備工事標準図（ ● 施工30、32（タンク室無し） ● 施工31、33（タンク室有り））

燃料小出槽（ ٪）：返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは通過形接点とする。

材質（ ● 鋼板製 ● ステンレス製）

燃料油等（ ● 灯油 ● 軽油 ● 重油 ● 燃料ガス（ ））

排気系統配管断熱材の厚さ（ mm）

ばい煙測定口（ ● 設ける ● 設けない）

排気ガスに含まれる窒素酸化物（ 以下）

運転音（ dB以下）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無）

公称最大出力（ kW）

耐風速（ m／s）

パワーコンディショナ（ 相 線式 V）

定格容量（ kW）

自立運転機能（ ● 有 ● 無）

表示装置（ ● 有 ● 無）

方式（ ※ 液晶 ● ）

系統連系（ ● 高圧連系 ● 高圧受電低圧みなし連系 ● 低圧連系 ● 無）

定格出力（ kW）

1 交換装置

局線応答方式（ ● 局線中継台方式 ● 分散中継台方式 ● ダイアルイン方式 ● ダイレクトインダイヤル方式 ● ダイレクトインライン方式 ）

停電補償時間（ 分）

※ 本工事 ● 別途工事

※ モジュラージャック ● 電話用プレート

内線 / / 回線 局線 / / 回線（現用／実装／容量）

● 一般電話機 台 ● 多機能電話機 台 ● ファクシミリ 台

● デジタルコードレス電話機 台 ● IP電話機 台

卓上電話機1台につき次のものを見込む。

● ボタン電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● 内線電話機（ ● EM-TIEF 0.65～2C ● TIVF 0.65～2C ）（ ※ 15m ● ）

● 多機能電話機（ ● EM-BTIEE 0.4～2P ● ）（ ※ 15m ● ）

● IP電話機（ ● EM-UTP 0.5～4P ● ）（ ※ 15m ● ）

1 マルチサイン装置

イメージスキャナ（ ● 設ける ● 設けない）

制御装置（ ● 壁掛形 ● 埋込形 ● 据置形）

呼出機能（ ● 有 ● 無）

方式（ ● 発光ダイオード ● 液晶 ● ）

3 時刻表示装置

親時計（ ● 壁掛形 回線 ● ラック形 回線）

太陽電池式屋外時計（点灯時間 h 点灯保証日数 日）

1 プロジェクタ

光出力（ ● I形 ● II形 ● III形）

解像度（ ● A形 ● B形 ● C形）

コントラスト比（ ● X形 ● Y形）

1 増幅器

1 音声誘導装置

1 自動火災報知設備

2 自動閉鎖設備

3 ガス漏れ火災警報設備

1 施工方法

2 地中箱

3 高圧負荷開閉器

4 高圧ケーブルの端末部

5 高圧ケーブルの屋外端末処理

6 標識シート

7 照明用ポール

1 施工方法

2 地中箱

3 標識シート

1 調査仕様

2 テレビ電波受信障害調査時期

3 受信する受信波及び地点数

4 報告書提出部数

1 機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

| 名 称         | 測 点    | 取付高(mm)          |
|-------------|--------|------------------|
| 取引用計器       | 地上～窓中心 | 1,800～2,000      |
| 引込開閉器       | 地上～中心  | 1,800～2,200      |
| 分電盤・OA盤・実験盤 | 床上～中心  | 1,500（上端1,900以下） |
| スイッチ        | 〃      | 1,300            |
| 〃（多機能トイレ）   | 〃      | 1,100            |
| コンセント（一般）   | 〃      | 300              |
| 〃（和室）       | 〃      | 150              |
| 〃（台上）       | 台上～中心  | 150              |
| 〃（土間）       | 床上～中心  | 800～1,300        |
| 〃（車椅子用）     | 〃      | 900              |
| ブラケット（一般）   | 〃      | 2,100～2,300      |
| 〃（踊場）       | 〃      | 2,000～2,500      |
| 〃（鏡上）       | 鏡上端～中心 | 150              |
| 壁掛形制御盤      | 床上～中心  | 1,500（上端1,900以下） |
| 手元開閉器       | 〃      | 1,500            |
| 操作スイッチ      | 〃      | 1,300            |
| 端子盤         | 床上～下端  | 300              |
| 保安器箱        | 天井下～上端 | 200              |
| 壁付アウトレット    | 床上～中心  | 300              |
| 〃（和室）       | 〃      | 150              |
| 壁掛形親時計      | 床上～中心  | 1,500（上限1,900以下） |
| 子時計         | 〃      | 天井高×0.9          |
| 壁掛形スピーカ     | 床上～中心  | 天井高×0.9          |
| 壁付アッテネータ    | 〃      | 1,300            |

2 工事のため送電線及び配電線の近くで作業するときは、事前に中国電力に連絡し、事故防止に努めるものとする。

増幅器

音声誘導装置

自動火災報知設備

自動閉鎖設備

ガス漏れ火災警報設備

施工方法

地中箱

高圧負荷開閉器

高圧ケーブルの端末部

高圧ケーブルの屋外端末処理

標識シート

照明用ポール

施工方法

地中箱

標識シート

調査仕様

テレビ電波受信障害調査時期

受信する受信波及び地点数

報告書提出部数

機器取付高

機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。

| 名 称             | 測 点    | 取付高(mm)   |
|-----------------|--------|-----------|
| 表示盤             | 床上～中心  | 天井高×0.9   |
| 壁付発信器           | 〃      | 1,300     |
| ベル、ブザー、チャイム     | 〃      | 2,300     |
| 受付押ボタン（一般）      | 〃      | 1,300     |
| 電源箱             | 床上～下端  | 300       |
| 外部受付用インターホン(子機) | 標準図による |           |
| 壁付インターホン(上記以外)  | 床上～中心  | 1,300     |
| 壁付押ボタン(多機能トイレ)  | 〃      | 900       |
| 壁付押ボタン(多機能トイレ)  | 〃      | 300       |
| 床転倒時用           | 〃      |           |
| 機器収容箱           | 天井下～上端 | 200       |
| テレビ端子           | 床上～中心  | 300       |
| 〃（和室）           | 〃      | 150       |
| 受信機・副受信機        | 床上～操作部 | 800～1,500 |
| 機器収容箱           | 〃      | 800～1,500 |
| 発信機             | 床上～中心  | 800～1,500 |
| ベル              | 天井下～上端 | 200       |
| 表示灯             | 〃      | 200       |
| ガス漏れ中継器         | 天井下～中心 | 300       |
| 検知器（都市ガス）       | 天井下～下端 | 300       |
| 〃（LPガス）         | 床上～上端  | 300       |

（※）平木電機産業

（※）小林制電㈱

（※）富士オートメーション

（※）増岡電機製作所

III. 機 材

工事に使用する機器及び材料は、図面に仕様等が明記してあるものを除き、原則として標準仕様書に規定するもの及び（一社）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」による。

ただし、盤類は上記によるほか以下の製造業者とする。

（※）平木電機産業

（※）小林制電㈱

（※）富士オートメーション

（※）増岡電機製作所

工 事 名

日南町総合文化センター照明LED化工事

図 名

電気設備工事特記仕様書（2）

縮 尺

管理建築士

査 図

担 当

作 図

作 図

株式会社 ティビィエム（ティビィエム環境設備設計事務所）

鳥取県米子市目久美町34番地2

鳥取県知事登録 第03-888号 一級建築士事務所

管理建築士 一級建築士 第344020号（設備設計一級建築士 第4169号） 赤井 優

年 月

2025.06

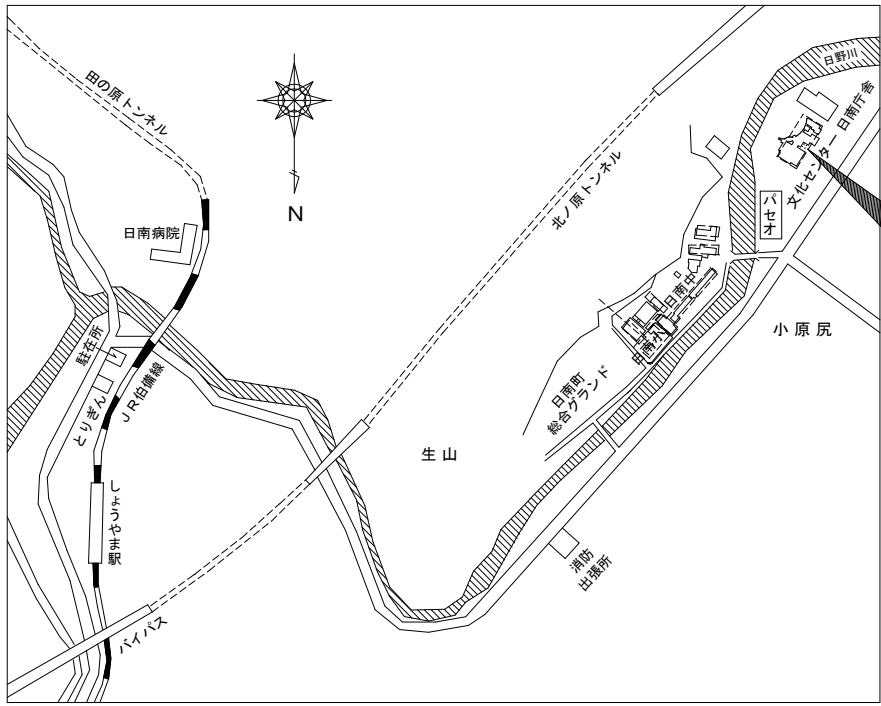
図 番

E-03

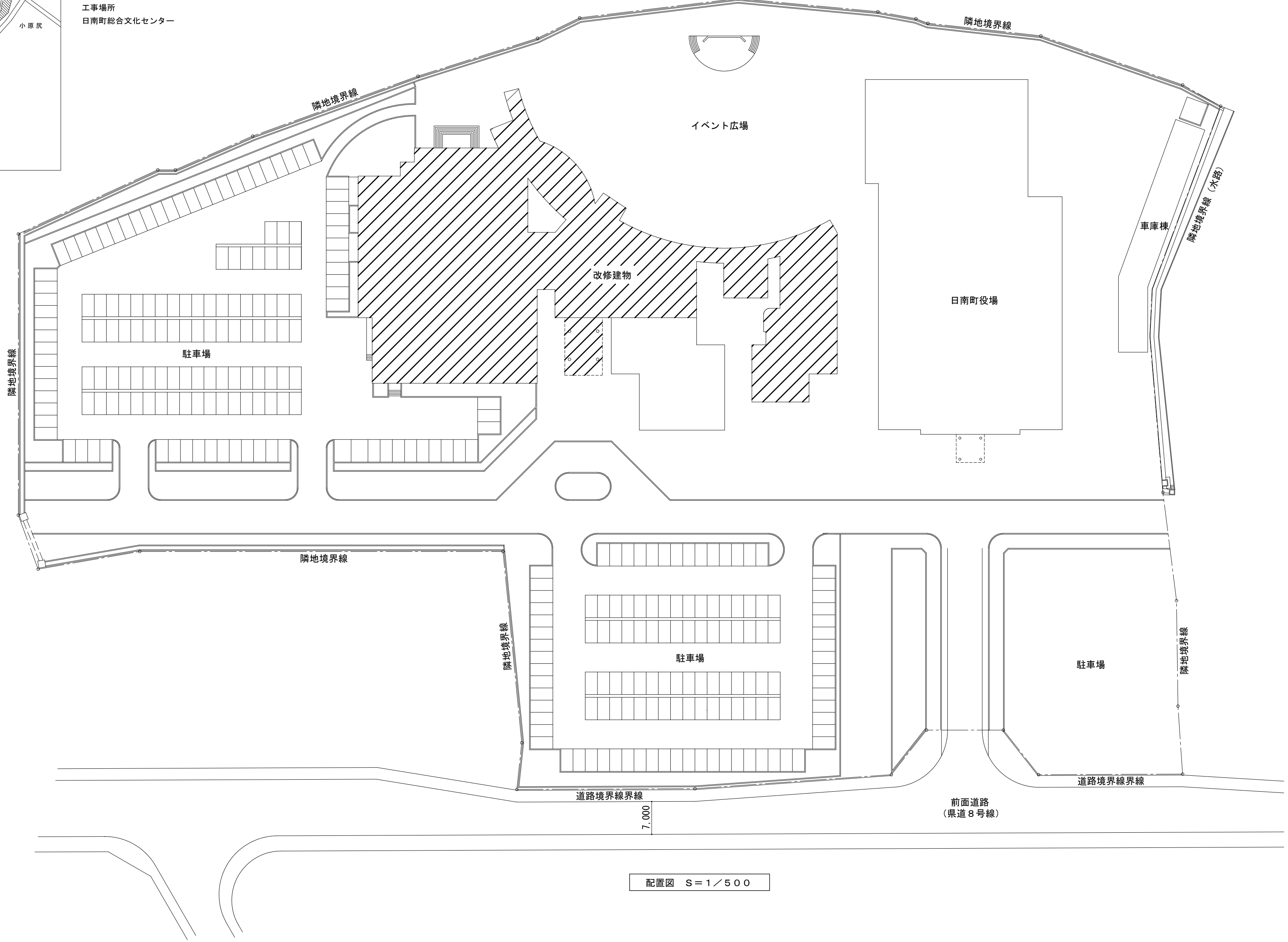
頁

03

12 全



付近見取図







11

1

|   |   |
|---|---|
|   |   |
| 2 | 1 |

|   |   |
|---|---|
|   | 1 |
| 1 | 1 |

|   |   |
|---|---|
|   |   |
|   | 5 |
| 1 | 5 |



1

1

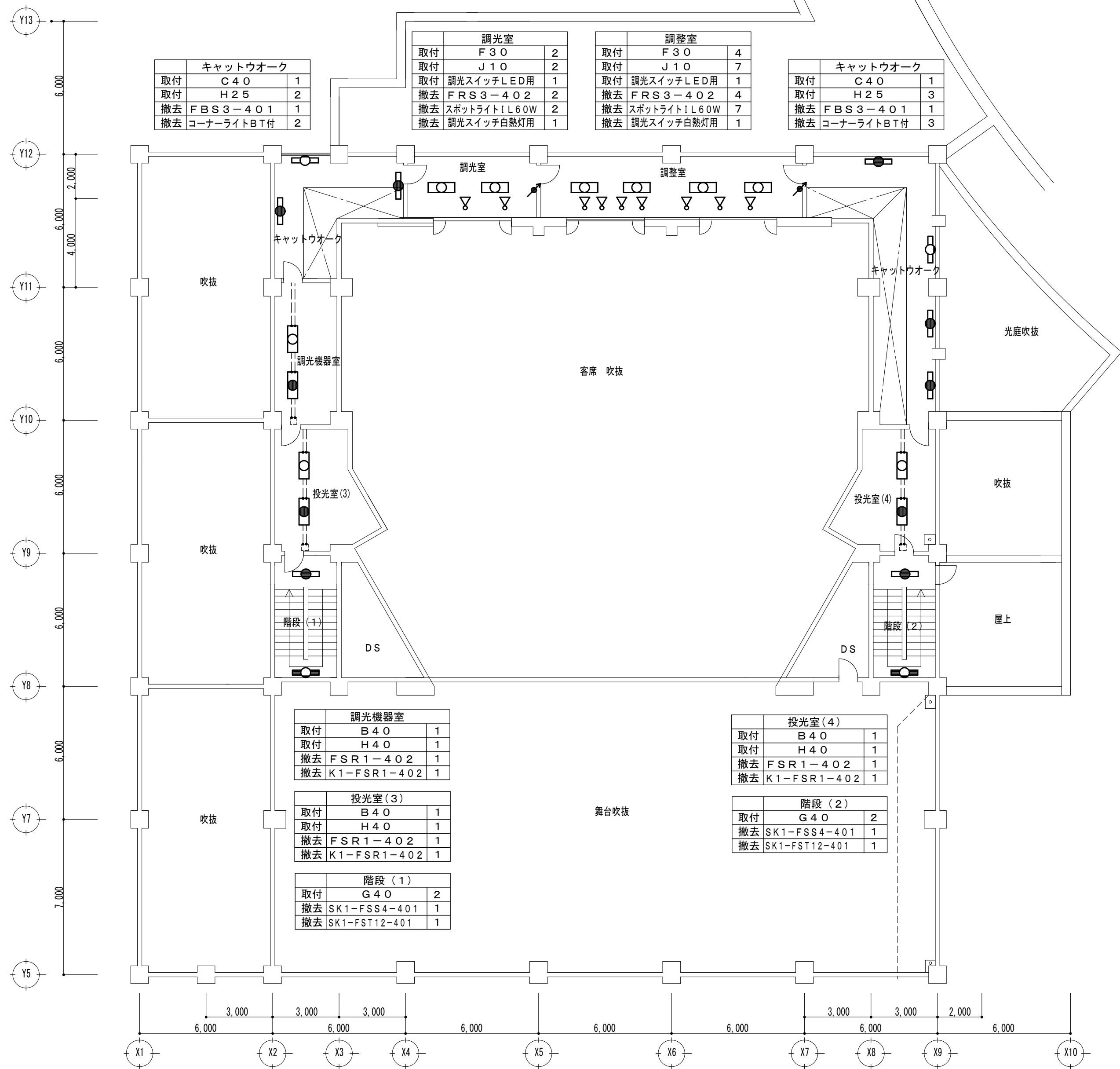
1

1

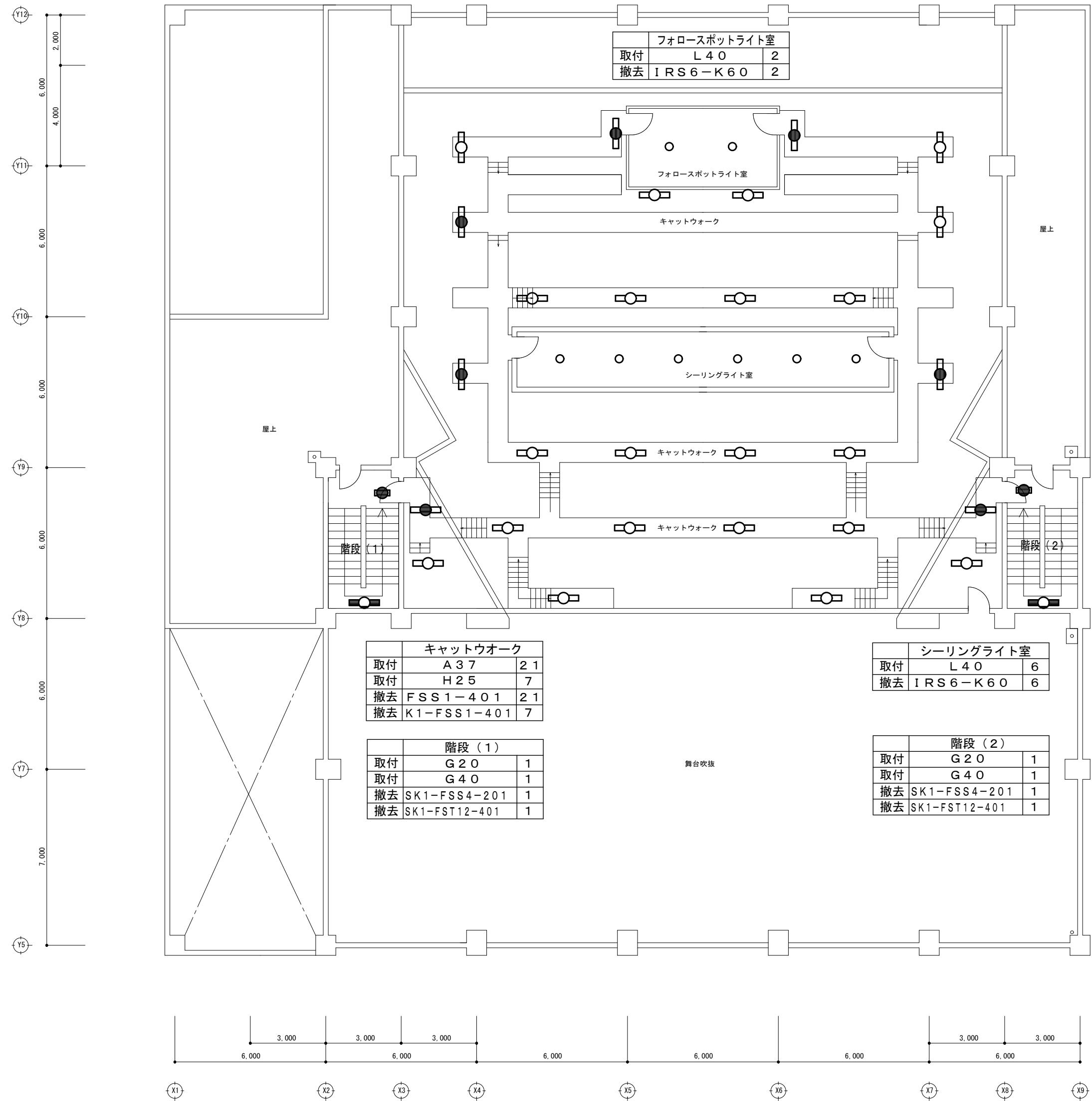
|   |   |
|---|---|
|   |   |
| 頁 | △ |

|    |    |   |
|----|----|---|
| 07 | 12 | 全 |
|----|----|---|

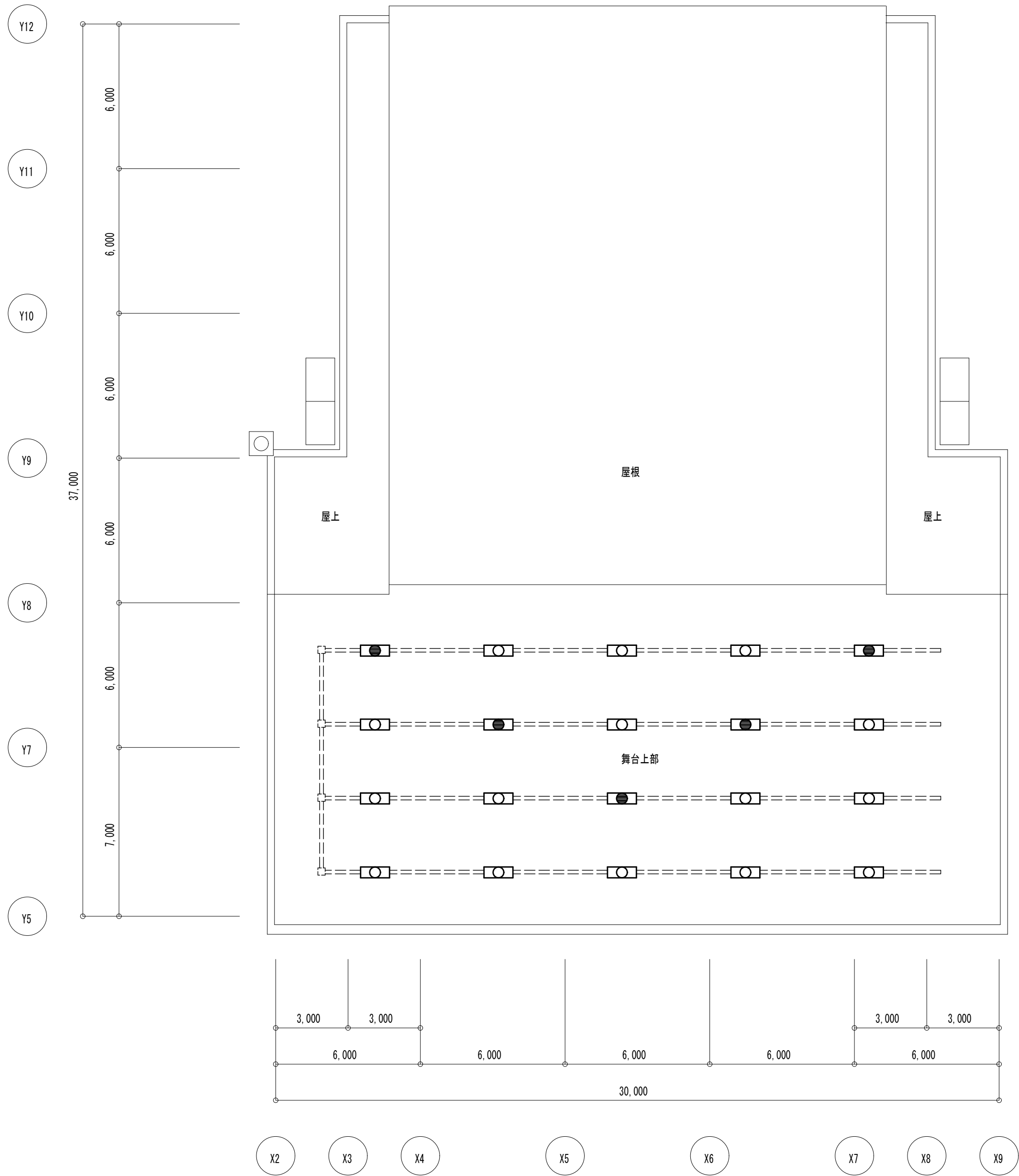
頁 07  
12  
全



ホール棟3階 電灯設備 配置図 S=1 / 150

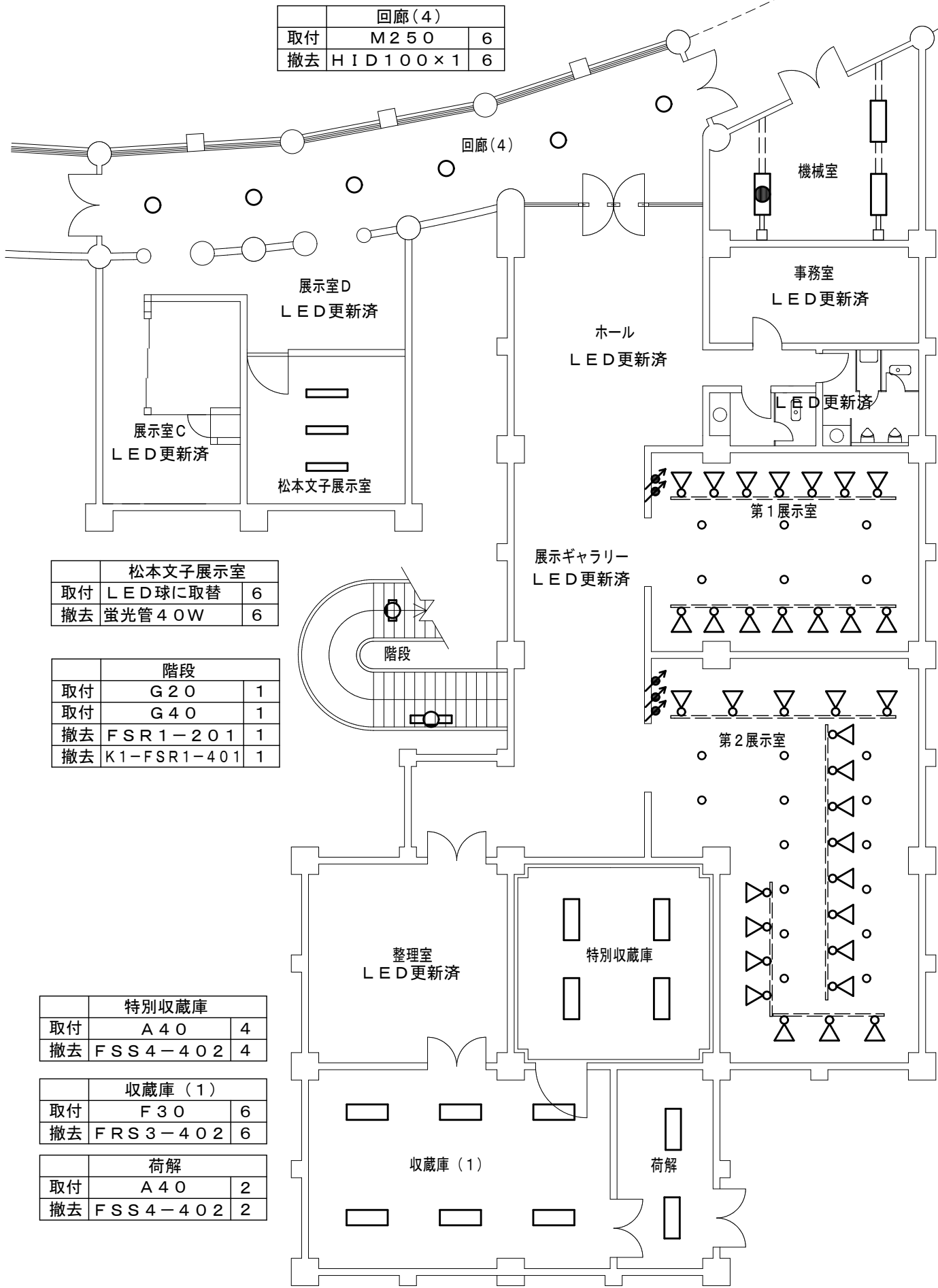


ホール棟4階 電灯設備 配置図 S=1/150

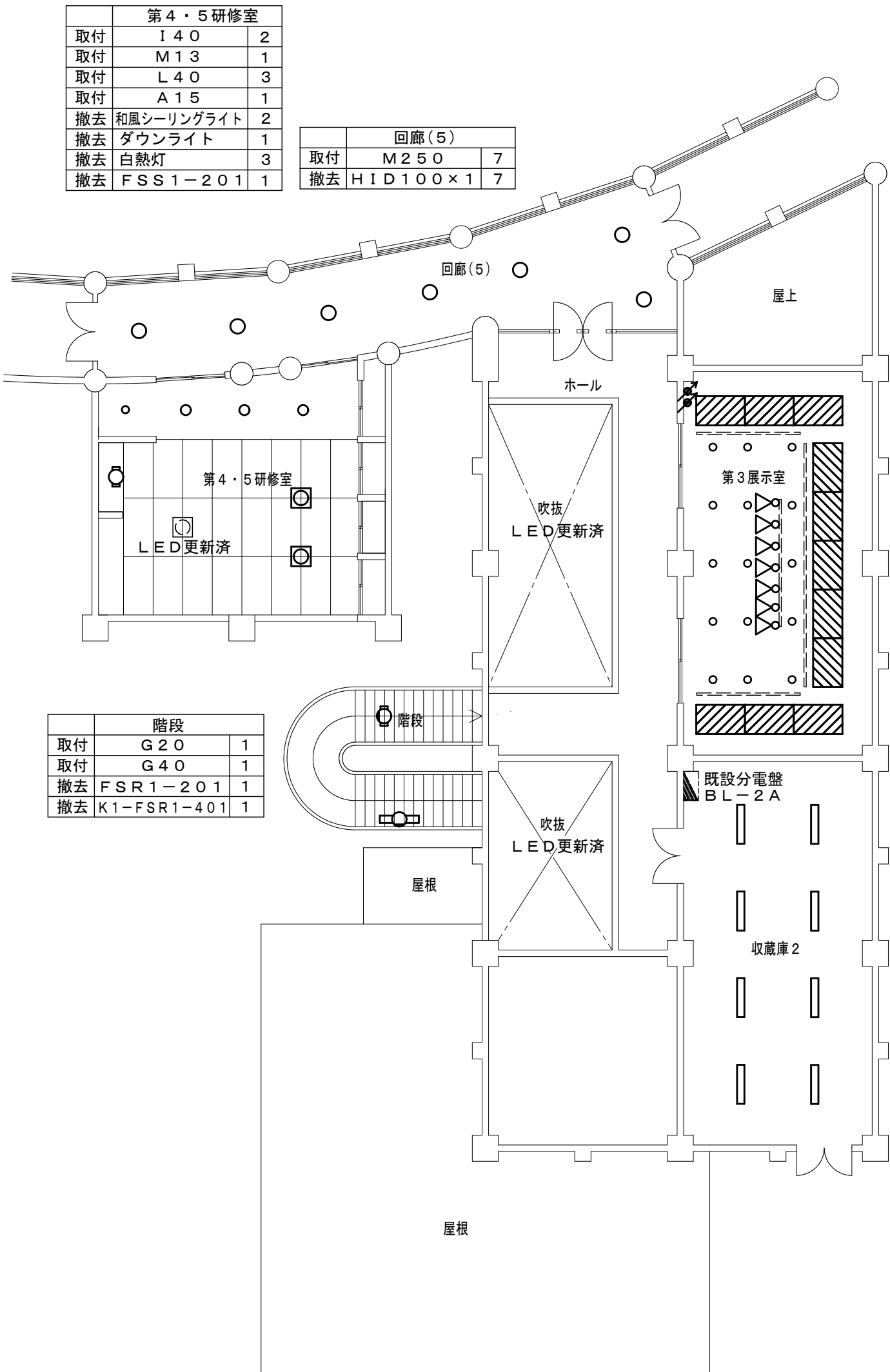


|    | 舞台上部                  |     |
|----|-----------------------|-----|
| 取付 | B 4 0                 | 1 5 |
| 取付 | H 4 0                 | 5   |
| 撤去 | F S R 1 - 4 0 2       | 1 5 |
| 撤去 | K 1 - F S R 1 - 4 0 2 | 5   |

ホール棟 塔屋 電灯設備 配置図 S = 1 / 1 5 0



美術館棟 1 階 電灯設備 配置図 S = 1 / 150



美術館棟 2 階 電灯設備 配置図 S = 1 / 150

